

平成31年第 1 回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



都 筑 区
25th

平成31年 2 月 4 日

都 筑 区

目 次

平成31年度 都筑区編成予算案 総括説明書	1
平成31年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案 概要	2
施策1 つながりと協働を育むまち	
1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充	4
2 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業） 重点 拡充	6
3 区役所改善推進事業 拡充	8
4 自治会・町内会支援事業 拡充	9
5 広報・広聴事業 拡充	10
6 まちづくり総合調整事業 拡充	11
7 地域de育む青少年事業（青少年健全育成事業）	13
施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち	
8 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点	14
9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	17
10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	19
11 地域で支える高齢者支援事業	20
12 障害者交流啓発事業 拡充	21
施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	22
14 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	23
15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	24
16 メイドインつづき推進事業	25
17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	26
18 都筑 国際交流プログラム 拡充	27
19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	28
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	29
21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	31
22 安全・安心なまちづくり事業 拡充	33
23 食と暮らしの安全推進事業	34
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	35
25 ハマロード・林・ター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	36
26 環境にやさしいまち推進事業	37
温暖化対策プラス事業	
市立保育所における温暖化対策啓発事業 新規	38

※ 重点事業は **重点**、拡充事業は **拡充**、新規は **新規**、と表記しています。

平成31年度 都筑区編成予算案 総括説明書

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

（単位：千円）

区 分	平成31年度	平成30年度	増△減
1 自主企画事業費	101,290	101,491	△ 201
2 統合事務事業費	40,532	22,465	18,067
(1) 統合事務費	22,669	22,465	204
(2) 統合事業費 ※1	17,863	0	17,863
3 区庁舎・区民利用施設管理費	633,618	628,431	5,187
4 温暖化対策プラス事業 ※2	8,061	0	8,061
合 計	783,501	752,387	31,114

※1 自主企画事業費から分離された広報よこはま発行事業等の7事業費の総称

※2 区役所や地域における温暖化対策の取組を推進するための事業費

＜内訳＞

1 自主企画事業費 【30年度は101,491千円から下記2(2)統合事業費の該当金額17,439千円を除いて比較】

施 策 の 柱	平成31年度	平成30年度	増△減
(1) つながりと協働を育むまち	32,462	26,508	5,954
(2) いきいきと健やかに暮らせるまち	17,868	17,695	173
(3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	18,798	16,982	1,816
(4) 安全・安心なまち	23,579	16,806	6,773
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	8,583	6,061	2,522
合 計	101,290	84,052	17,238

2 (2) 統合事業費 【30年度は自主企画事業費として計上していたため、参考数字】

区 分	平成31年度	平成30年度
広報よこはま発行事業	9,718	(9,467)
市民相談事業	1,540	(1,527)
クリーンタウン横浜事業	1,442	(1,332)
消費生活推進員活動事業	448	(448)
スポーツ推進委員支援費	1,798	(1,309)
青少年指導員事業	1,397	(1,836)
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520	(1,520)
合 計	17,863	(17,439)

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	平成31年度	平成30年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	230,256	230,276	△ 20
区版市民活動支援センター	931	801	130
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,509	5,794	△ 285
地区センター等管理費	146,106	143,872	2,234
ログハウス管理費	7,762	7,691	71
公会堂管理費（光熱水費含む）	33,413	32,816	597
老人福祉センター等管理費	105,103	104,147	956
コミュニティハウス管理費	50,768	49,500	1,268
区スポーツセンター管理費	38,901	38,700	201
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	6,894	6,894	0
その他（広場・遊び場）	475	440	35
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	633,618	628,431	5,187

■平成31年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案 概要

都筑区では、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、5つの柱に基づき自主企画事業費予算を編成しました。

区民の皆様が「日々を心豊かにすごし、ずっと住み続けたい」と愛着を持てるよう、地域・団体・企業の皆様と共に、ふるさとづくりに取り組んでまいります。

施策1 つながりと協働を育むまち

予算額 32,462 千円(対前年度比 +5,954 千円)

地域の課題を地域で解決できるよう、自治会町内会をはじめとした地域・団体・企業の交流の場をつくるなど、地域の力やつながりを育みます。

また、第3期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を推進し、人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを地域の多様な主体と協働して進めます。

併せて、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。



施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

予算額 17,868 千円(対前年度比 +173 千円)

都筑区は年少人口の割合が18区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯に選ばれるまちとして、更なるこども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、地域の参画による各世代に応じた健康づくりを進めます。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 18,798 千円(対前年度比 +1,816 千円)

地域のにぎわいづくりとふるさと意識の向上を図るため、地域や企業などと協働して、区民まつりを開催します。また、都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めます。

併せて、第7回アフリカ開発会議や東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るなど、更なるにぎわいづくりに取り組みます。



施策4 安全・安心なまち

予算額 23,579 千円(対前年度比 +6,773 千円)

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、日本各地で発生している地震や豪雨災害により区民の防災・減災への関心が高まっていることを受け、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 8,583 千円(対前年度比 +2,522 千円)

新たな中期4か年計画で示されている「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、施策を進めていきます。

都筑区の地域資源である公園や緑道などの安全対策に取り組むとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。



～今年は都筑区制25周年の節目の年です～

記念式典の開催や、区のこれまでの軌跡を通史的にまとめた「図説 都筑の歴史」の発行など、地域に対する愛着・ふるさと意識を醸成していただけるよう、区制25周年を区民の皆様と共にお祝いします。



(単位：千円)

重点	No. 自主企画事業名	平成31年度	平成30年度	増△減	区制25周年関連予算
★	1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	3,380	2,910	470	○広報よこはま都筑区版記録集発行 ○「つづきウォーク&フェスタ」開催
★	2 つづき”縁”ジン事業(市民活動・生涯学習支援事業)	2,732	2,498	234	
	3 区役所改善推進事業	13,690	10,868	2,822	
	4 自治会・町内会支援事業	3,429	2,586	843	
	5 広報・広聴事業	1,910	1,529	381	
	6 まちづくり総合調整事業	6,279	5,280	999	
	7 地域de育む青少年事業(青少年健全育成事業)	1,042	837	205	
★	8 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	9,193	9,448	△ 255	○都筑区地域子育て支援拠点サテライト(仮称)オープニングイベント開催 ○健康に関する記念講演会開催 ○積木を使ったイベント開催
★	9 つづき健康づくりサポート事業	2,630	1,762	868	
	10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	3,333	3,541	△ 208	
	11 地域で支える高齢者支援事業	1,242	1,894	△ 652	
	12 障害者交流啓発事業	1,470	1,050	420	
★	13 街のにぎわいづくり事業	6,205	4,480	1,725	○記念式典開催 ○「図説 都筑の歴史」発行
★	14 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業	905	700	205	
	15 文化活動支援・スポーツ振興事業	1,969	1,819	150	
	16 メイドインつづき推進事業	4,369	4,983	△ 614	
	17 「図説 都筑の歴史」編さん事業	3,200	3,000	200	
	18 都筑 国際交流プログラム	1,550	1,400	150	
	19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	600	600	0	
★	20 災害にそなえる自助・共助の推進事業	3,288	1,935	1,353	
★	21 危機管理対策推進事業	9,732	5,005	4,727	
	22 安全・安心なまちづくり事業	9,728	9,298	430	
	23 食と暮らしの安全推進事業	831	568	263	
★	24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	2,639	2,218	421	○「つづき みどりと花の名所25選」開催
★	25 ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会等活動推進事業	4,230	2,023	2,207	
	26 環境にやさしいまち推進事業	1,714	1,820	△ 106	
合計		101,290	84,052	17,238	

※30年度予算額は、当初額101,491千円から、31年度より統合事業費として分離された7事業の予算17,439千円を除いています。

※ 31年度に新たに実施する項目については下線が引いてあります。

施策1 つながりと協働を育むまち

1 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		338 万円	291 万円

人のつながりを実感し、安心して暮らせる地域づくりを行うため、地域福祉保健の課題解決に向けて「自助」「共助」「公助」を組み合わせ、関連付けながら総合的に取組を進めていきます。

計画の推進にあたっては、区・区社会福祉協議会・区内地域ケアプラザの3者の連携をより深め、取り組んでいきます。

1 地域懇談会の開催

第3期計画推進に向けた地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。また、第4期計画の策定に向けた機運の醸成を図るため、計画啓発用物品の制作を行います。

(2) 地域のつながりづくりや活動の担い手育成支援等のため、職員を対象とした研修を実施します。

3 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について、引き続き取り組みます。また、(仮称)都田地域ケアプラザの整備に向けて、整備予定地周辺の自治会町内会をはじめ、各種団体等と調整します。

5 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌を発行し、情報共有の一助とします。

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期地域福祉保健計画の推進やその方向性、地域の取組について、学識経験者や区民の意見交換の場とします。

また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、高齢者分野、障害者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の取組を共有する場として、計画発表会「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

【区配事業】地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局）

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、行政、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、第4期横浜市地域福祉保健計画（計画期間31～35年度）を推進します。また第3期区計画の推進支援及び、第4期区計画（計画期間33～37年度）の策定を支援します。

具体的には、地域課題等を踏まえた住民主体の取組の検討を行う各種会議等の開催、計画策定に向けたデータ整理・冊子作成のための集約等に関する委託費等、第4期区計画の策定のための予算を配付します。

2 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業) 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	273 万 2 千円	249 万 8 千円	23 万 4 千円

市民活動・生涯学習支援における個人のきっかけづくりから、グループ化を支援し、レベルに合った団体支援を行います。また、都筑区民活動センターが区内の中間支援組織のハブ機能を果たすことを目指し、団体同士や施設同士の情報の共有や連携が進むよう、ネットワークづくりに取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを支援し地域活動へつなげることを目的に、特定のテーマを設定した学級を開催します。

(2) ベース 60 男の居場所【新規】

地域を知り、仲間と出会い、地縁をはぐくむ場として、シニア男性を対象としたサロンを毎月1回開催します。

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」となるよう、区内・近隣の女性たちによるネットワークづくりを支援します。

(4) 区民活動センター利用促進事業

区民活動センターの新規利用者獲得のための事業を委託により実施します。現役世代から、地域活動や市民活動に関わることで退職後、地域とのつながりづくりにスムーズに移行できるきっかけを作ります。

2 つながる（個人から団体へ）

(1) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習をはじめのきっかけを提供するためのツールとして、広報紙を発行します。

(2) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設の情報交換会を行い、ネットワークの強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めます。

3 ささえる（団体支援）

(1) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによる活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。

(2) 縁ジンミーティング

区民活動センターの登録団体を対象として、活動内容に関わる必要な知識やノウハウについてテーマ別の講座を実施するとともに団体間の交流を図ります。

(3) 区民活動補助金

市民活動団体が自主的かつ主体的に行う、公益性が高く地域課題の解決につながる事業に対し補助金を交付します。

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等、今年度市民活動・生涯学習事業を実施した団体の成果を発表します。

【区配事業】 元気な地域づくり推進事業（市民局）

地域の様々な団体等が連携・協働して行う課題解決の取組に対して、区と局が連携・協議し、方向性を共有しながら支援していく事業です。

身近な地域において、様々な団体が連携し、地域課題の解決に取り組む場を充実させるため、この目標に向けた「組織づくり」「人材づくり」を進めます。

3 区役所改善推進事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		1,369 万円	1,086 万 8 千円

区民満足度の向上のため「あったかハートつづき宣言」に基づき、窓口サービスの改善、区役所で税理士等による確定申告書の提出・相談、子ども連れのお客様が安心して相談できる環境づくり等を実施します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討のうえ、実施します。
- (2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施します。

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。

また、様々な来庁者が利用しやすい区庁舎になるよう、戸籍課及び保険年金課の窓口レイアウト変更や待合いフロアの環境整備を進めます。

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期（2月16日～3月15日）に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告（医療費控除の還付申告）に係る作成支援と受付を区民に身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。（配置時間：8時45分～17時）

また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施します。（実施時間：9時30分～15時30分）

4 自治会・町内会支援事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		342 万 9 千円	258 万 6 千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表します。

2 自治会町内会への情報提供

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・ 転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・ 区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・ 宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・ 連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・ 自治会町内会会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を作成・配布

【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行っています。

【区配事業】自治会町内会館整備助成（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行っています。補助メニューは、新築・増築・改修・修繕などで、整備費の2分の1を補助します。

5 広報・広聴事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		191 万円	152 万 9 千円

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催します。

2 広報区版記録集発行事業【新規】

区制 25 周年にあたり、これまでの広報よこはま都筑区版の記録集を発行します。

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けたツイッター等での情報発信を行います。

4 PRボックスの活用

毎月 1 日に全駅の PR ボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月 10 日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

5 転入者向けガイドブック発行事業

28 年度に発行し、30 年度に更新した「Garden×都筑区役所」を増刷します。

6 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、広報区版への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行います。

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会

6 まちづくり総合調整事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		627 万 9 千円	528 万円

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るため、課題解決に向けた検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。

また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりに向けた普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを進めます。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行います。

また、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催します。

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）や区内企業との情報交換を行います。

2 都筑区区民意識調査【新規】

一定数無作為抽出した区民を対象に、区政に対する意向や意識を調査し、今後の都筑区の施策の基礎資料とします。

3 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

都筑区民文化センター（仮称）の整備が予定されているタウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討及び取組支援を行います。

4 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上に向けた方策

「都田・池辺地区ボランティアバス」の実証運行期間中の運行支援を行いながら、運営体制及び運行ルート等の検討を行います。

(2) バス路線利用促進に向けた周知PR

横浜市生活交通バス路線の周知用ポスターをバス車内や自治会町内会の掲示板に掲示するなど、利用促進PRの取組を進めます。

(3) まちの課題解決事業

地域のつどい等で把握できた課題について、緊急性や実現可能性等を考慮しながら取組及び検討を実施します。

【局事業】 地域交通サポート事業（道路局）

29年度に開始した「都田・池辺地区ボランティアバス」の実証運行前後における利用者の外出行動の変化など、バス導入による効果検証及び実証運行にかかる支援を区と道路局で連携して行っていきます。

また、実証運行期間終了後についても、地域の自立運行にかかる支援を区と道路局で連携して行っていきます。

【局事業】 横浜環状北西線及び関連街路等の整備（道路局）

横浜環状北西線（東名高速道路横浜青葉インターチェンジ～第三京浜道路港北インターチェンジ）は、道路局と首都高速道路株式会社が連携しながら、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して事業を推進しています。31年度はトンネル内の防災設備工事や調整工事等を引き続き進めます。

また、本線と一般道路を結ぶ川向線などの関連街路については、北西線の完成に先がけ、31年度末の開通を目指して整備を進めます。

【局事業】 都筑区民文化センター(仮称)の整備（文化観光局）

都筑区民文化センターの新設整備に向けて、31年度は設計協議等を進めます。

【局事業】 都田地区センター・地域ケアプラザ(仮称)の整備（市民局、健康福祉局）

都田地区センター・地域ケアプラザの新設整備に向けて、31年度は実施設計を行います。

7 地域 de 育む青少年事業 (青少年健全育成事業)	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	104 万 2 千円	83 万 7 千円	20 万 5 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。また、「都筑区健康アクション!」とも連携しながら、区制25周年を盛り上げます。

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

8 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		919万3千円	944万8千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫が参加しやすいように、土曜日半日コースの両親教室を、区役所会場で4回とポポラ会場で4回実施します。

都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子健康手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」の裏面に印刷し、全妊婦に配布します。

2 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。

また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び講演会」を開催します。

3 子育てネットワーク事業

地域子育て支援拠点 P o p o l a（ポポラ）や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

また、子育てサークルの運営を支援するため、自主的に子育てサークルを運営しているリーダーを対象に、研修や運営支援、情報交換（サークル交流会）を行います。

4 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

5 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に際し、はまっ子ふれあいスクール運営委員会に対するNPO法人設立支援や、運営開始後に必要な実務的な支援等を実施します。

6 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。

7 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会や放課後児童育成事業の紹介を行い、併せて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

8 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して、命の授業を区内の全市立小学校（22校）で実施します。

9 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、赤ちゃんふれあい体験事業を区内の全市立中学校（8校）で実施します。

10 「つづき・育なび」推進事業

スマートフォンやパソコンから乳幼児健診や保育園・幼稚園、医療機関、お出かけスポット、予防接種スケジュールなどの情報を手軽に見られる「つづき・育なび」ウェブ版及びアプリを運用します。

11 都筑区地域子育て支援拠点サテライト(仮称)オープニングイベント【新規】

都筑区地域子育て支援拠点サテライト(仮称)の開所を記念し、オープニングイベントを実施します。

【区配事業】両親教室（母子保健指導事業）（こども青少年局）

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために両親教室（1コース3回/月）を実施します。（土曜両親教室開催月は3回目を土曜日に設定します。）

【区配事業】児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課職員を対象にした人材育成のための職員研修を3回、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした関係者向け講演会を1回実施します。

【区配事業】放課後児童育成事業（こども青少年局）

1 放課後キッズクラブ

学校施設を活用し、「遊びの場」と留守家庭児童を対象とした「生活の場」を兼ね備えた、安全・安心な放課後の居場所を提供します。

2 はまっ子ふれあいスクール

学校施設を活用し、「遊びの場」の役割を備えた、安全・安心な放課後の居場所を提供します。

3 放課後児童クラブ（学童保育）

民間住宅等を利用し、留守家庭児童を対象に、家庭的な雰囲気大切に、放課後の居場所を提供します。

【区配事業】寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう支援するとともに、安心して過ごせる居場所を提供します。

【局事業】地域子育て支援拠点に準じた拠点サテライトの整備（地域子育て支援拠点事業）（こども青少年局）

乳幼児人口が多い区に、地域子育て支援拠点に準じた機能を持つ拠点サテライトを整備します。

9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	263 万円	176 万 2 千円	86 万 8 千円

区民の自主的な健康づくりを支援するため、「都筑区健康アクション」に基づき庁内連携を進めるとともに、保健活動推進員、食生活等改善推進員、民間企業との協働により生活習慣病及びがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた中断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員会と食生活等改善推進員会が発足25周年を迎えます。各推進員会と協働で健康に関する記念講演会を開催することで、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識をより一層醸成します。

さらに、「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知し、自らがそれぞれの健康づくりに取り組むきっかけを作ります。

4 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、29年度から保険年金課待合スペースで実施しているストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等の取組を引き続き実施していきます。

【区配事業】健康横浜21推進事業、よこはま健康アクション推進事業（健康福祉局）
横浜市では「第2期健康横浜21」の基本理念に基づき、「健康寿命の延伸」を目指しています。生活習慣及び社会環境を改善することで生活習慣病の発症と重症化を予防し、健康寿命の延伸につなげるため、集団健康教育事業、たばこ対策事業、がん検診・特定健診啓発、給食施設支援、生活保護受給者等の健康支援、健康経営企業応援事業などの健康づくり関連事業を実施します。

【局事業】よこはま健康スタイル推進事業（健康福祉局）

市民等が日常生活の中で、楽しみながら継続して健康づくりや社会参加に取り組み、その活動に応じてポイントが貯まる事業に取り組みます。（よこはまウォーキングポイント、健康スタンプラリー、シニアボランティアポイント）

10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	333 万 3 千円	354 万 1 千円	△20 万 8 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力により、毎月第3日曜日に園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が保護者へ食事の仕方や作り方について助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいように地域ごとに実施します。

5 積木交流

保育施設や幼稚園等における地域の子育て支援の充実を図るため、地域の親子向け育児講座として、区民ホールで積木を使ったイベントを区制25周年記念行事として開催するなど、「積木の都筑」を広めていきます。

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局）

市立保育所では、民間保育所や幼稚園を含めた施設や人材を保育資源ととらえ、地域の子育て支援を推進するとともに、各保育資源が連携して保育資源全体の保育の質の維持・向上を図っています。市立保育所が核となり地域の親子に対する仲間づくりや身近な相談ができる環境の提供などに努めています。

【区配事業】保育所・幼稚園・認定こども園子育てひろば事業（こども青少年局）

保育所の地域子育て支援事業として市立保育所での園庭開放を実施しています。また、同様に民間保育所等20園でも園庭開放を実施しています。

11 地域で支える高齢者支援事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	124 万 2 千円	189 万 4 千円	△65 万 2 千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム

都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供をし、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。

(2) サポート連絡会

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。

3 福祉保健情報提供事業

福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ（市民ボランティア）を配置します。

チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、お客様の案内誘導等を行います。

また、高齢者施設の所在、サービス内容や制度案内等については、タブレット端末を用いて最新の情報をご案内します。

【局事業】認知症サポーターキャラバン事業（健康福祉局）

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成するため、認知症サポーター養成講座の講師役となる認知症キャラバン・メイトを養成します。

12 障害者交流啓発事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		147 万円	105 万円

障害児・者と区民との交流を目的とし、福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者の自立・社会参加のために、地域の理解を深め、つながりを作る啓発事業を行います。

2 障害者地域啓発事業

多くの区民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やすための事業を推進します。

障害のある方が、地域防災拠点に参加し、地域の方と顔が見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会を作ります。

障害者自立支援協議会を活用し、地域向け障害者理解のための講演会を区内の地域ケアプラザで行い、その活動内容についてホームページを使って情報発信します。

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるために、区役所やセンター南・センター北駅で障害者施設の自主製品販売を支援します。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	620万5千円	448万円	172万5千円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

区制25周年を迎えるにあたり、区民の皆様にPRするとともに25周年をお祝いし盛り上げていきます。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう「第25回都筑区民まつり」の実施を支援します。

また、記念式典等、区制25周年の記念事業を実施します。

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝える取組を行います。

また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の芝生広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。

【区配事業】 商店街活性化イベント助成事業（経済局）

商店街が実施するイベントに対し補助します。

14 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	90万5千円	70万円	20万5千円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け、機運醸成を図ります。特に都筑区では、横浜国際プールが英国代表チームの事前キャンプ地となるため、「ホストタウン」としての取組を通じ、スポーツはもとより、文化芸術や国際理解など幅広い分野で、まちのにぎわいを創出します。

1 都筑×英国文化交流講座の開催

東京 2020 大会を契機として都筑区と英国の交流を深めるため、都筑区と英国の相互の文化を知り、2020 年のホストタウンとしてのおもてなしを考えるための講座を開催します。講座の開催にあたっては、都筑多文化・青少年交流プラザと連携して実施します。

2 国際理解講座の開催

2020 年に向けて、英国の事前キャンプ地となることを P R するために、東京 2020 大会の前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019TMの盛り上がりを生かし、相乗的に 2 大会の機運醸成を図り、区民の関心を高める国際理解講座を開催します。

29、30 年度の国際理解講座の参加者に 31 年度の講座について企画段階から運営協力いただき、講座終了後も参加者が自主的に活動できるよう支援を行います。

3 英国代表チーム歓迎イベント【新規】

2019 年に横浜国際プールで事前キャンプを行う予定の英国水泳代表チームとの交流会等を、区内の施設で実施します。

4 ボツワナ共和国のホストタウン登録に伴う取組【新規】

第 6 回都筑・ボツワナ交流児童画展等の機会を活用して、ボツワナ共和国のホストタウン登録の広報を行います。

【区配事業】英国ホストタウン事業（市民局）

横浜国際プール周辺での階段装飾等を通じた P R 活動や英国代表チーム歓迎イベントを区内の施設で実施します。

【区配事業】ラグビーワールドカップ 2019TM、東京 2020 大会に向けた機運醸成（市民局）

ラグビーワールドカップ 2019TM、東京 2020 大会の機運醸成のための装飾や P R 活動等を実施します。

15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		196 万 9 千円	181 万 9 千円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助や情報共有を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

横浜市市民読書活動計画の改定に基づき、第2期「都筑区読書活動推進目標」を定めます。併せて、読書をより身近なものにするため、読書活動団体・読書関連施設と連携し、「つづきブックマップ～都筑区読書関連施設マップ～」を更新します。

【区配事業】横浜芸術アクション事業（文化観光局）

横浜音祭り 2019（仮称）と連携し、都筑区民文化祭プレ企画として音楽イベントを実施し、音楽で地域を盛り上げます。

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

新たに定める区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

16 メイドインつづき推進事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	436 万 9 千円	498 万 3 千円	△61 万 4 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 展示会出展等支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

2 地産地消の推進

区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催（概ね月2回）やイベント開催、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸し出し、リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPRなど、地域の中での地産地消の取組を支援します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行い、食育と地産地消をテーマとしたイベントを開催します。

3 事業PRイベントの実施

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行います。

【区配事業】ものづくり人材育成支援事業（経済局）

地域の中小製造業の魅力を発信し関心を高め、若手を中心とした人材の確保につなげるため、区と経済局が連携して「メイドインつづき推進事業」を行い、地域経済の活性化を進めていきます。

【区配事業】身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局）

農産物直売所の整備等を支援するとともに、市内で生産される苗木や花苗の配布、地産地消に関わる情報の発信など、地産地消を身近に感じる取組を推進します。

	H31 予算額	H30 予算額	増△減
17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	320 万円	300 万円	20 万円
<p>子どもから大人まで都筑区への関心を高め、ふるさと意識やより一層のつながりづくりを目的に、都筑区ふるさとづくり委員会「図説 都筑の歴史」編さん委員会を支援し、原始から現代までの都筑区の歴史を総合的にまとめた「図説 都筑の歴史」を発行します。</p> <p>1 「図説 都筑の歴史」の発行 <u>これまで検討及び執筆した原稿を印刷製本し、区制 25 周年を迎える 11 月に発行します。</u></p> <p>2 刊行イベントの開催 横浜市歴史博物館や都筑図書館、区内区民利用施設と連携した「図説 都筑の歴史」刊行イベントを実施し、刊行について周知を図るとともに、区制 25 周年を盛り上げます。</p>			

18 都筑 国際交流プログラム 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		155 万円	140 万円

ボツワナ共和国などアフリカとの交流実績を生かして、第7回アフリカ開発会議横浜開催に向けた区内の機運を高めます。

また、区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」の運営を委託します。

(1) 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成、国際理解の促進のためのイベント、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

2 第7回アフリカ開発会議 関連事業

都筑多文化・青少年交流プラザやボツワナ共和国大使館、民間企業等と連携しながら、幼児や小中学生を意識したイベント等を開催し、横浜で開催される国際会議にむけた区内の機運を高めます。

【区配事業】多文化共生推進事業（国際局）

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

【区配・局事業】青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		60 万円	60 万円

29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元応援イベントの実施

横浜ビー・コルセアーズと地域の文化・芸術団体など地域の皆様と連携し、横浜国際プールや区内施設において、スポーツと文化・芸術の融合をテーマとした活動の成果を披露するとともにイベントを開催し、地元ファン層の拡大を図ります。

2 都筑区応援 day の実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様に試合観戦を呼びかける都筑区応援 day を実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		328万8千円	193万5千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

2 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

3 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）

取組を実施する地域に対して災害時要援護者名簿を提供します。また、地域の実情に合った支援体制づくりを積極的に支援するため、連合自治会町内会に対し研修会を開催するとともに、補助金を交付します。

4 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川水系の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

5 補充的避難所活用事業

多数の避難者で避難所のスペースが不足した場合や避難所の機能不能時に代替施設となる補充的避難所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう体制づくりを行います。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から、災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を作成し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため、消毒液の作り方シールを作成し、保育施設や高齢者施設等に配付します。

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。

【局事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

町の防災組織のメンバーを対象に、防災・減災推進研修を実施し、地域の防災活動の担い手となる人材を育成します。

また、広く市民を対象に、横浜市民防災センターを活用して、「地震火災対策」や「女性の視点をいかした自助・共助」など、テーマ毎に防災・減災の知識を深める「防センアカデミー」を実施します。

【区配事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

市民防災センターへの研修ツアーやその他研修会等の場を通じた啓発活動により、地域防災の担い手の育成や、町の防災組織を中心とした自助・共助の取組の推進を図ることで、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

【区配事業】災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

災害発生時に高齢者や障害者等の自力避難が困難な方々（災害時要援護者）の安否確認や避難支援等の支援活動が円滑に行われるよう、日頃からの地域の自主的な支え合いの取組を支援します。

21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	973 万 2 千円	500 万 5 千円	472 万 7 千円

大雨や台風による土砂災害や河川の氾濫を想定した風水害対策訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

- (1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。
- (2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。
- (3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。
- (4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

3 区本部体制の維持・管理

- (1) 区本部運営に必要となる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行います。
- (2) 防災用スピーカーを、鶴見川沿いに1基増設します。

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

【区局連携促進事業】緊急時情報システム運用試行事業（総務局）

都筑区では、避難情報などを迅速かつ的確に伝え、必要に応じて自ら避難行動をとっていただくために、自主企画事業として「緊急時情報伝達システム」を28年度から運用しています。区局連携促進事業では、1回線を追加で運用し、総務局と連携して更なる運用効果を得るための検証を行っていきます。

22 安全・安心なまちづくり事業 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
		972 万 8 千円	929 万 8 千円

犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯活動を支援します。
さらに、交通安全啓発やスクールゾーン協議会の支援、放置自転車の対策を実施し、区民の皆様の安全を守ります。

1 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

2 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様を顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備拡充や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

3 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

駅周辺にマナーアップ監視員を配置し、放置自転車等の抑制を図ります。

【局事業】LED防犯灯設置事業（市民局）

一般会計用地等活用メリットシステム（※）を活用して鋼管ポールLED防犯灯を新設します。

※ 一般会計用地等活用メリットシステム

一般会計で所管する土地等を対象に、各区局の創意工夫（候補地の抽出及び地域への売却説明）により売却を実施し、財源の確保を行った場合に、売却収入の2分の1に相当する額を上限として、最大3か年までの配分を可能とする制度です。

23 食と暮らしの安全推進事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	83 万 1 千円	56 万 8 千円	26 万 3 千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施するとともに、高齢者ボランティア給食やこども食堂を対象に、拭取り検査を併用した衛生指導を実施します。

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食品衛生パネル展や、地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。

イベントや講座では、簡易機器を用いた手洗いの効果測定や手洗い方法を印刷したクリアフォルダの配布により、正しい手の洗い方を周知します。

2 暮らしの衛生確保事業

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、区民まつり、狂犬病予防注射出張会場において、ペットのマナー及び飼育などに関する啓発を実施します。

【区配・局事業】食品衛生監視指導等事業・食品の放射性物質検査事業（健康福祉局）

食の安全を確保するため、食品取扱施設の監視指導や食品の放射性物質検査を実施します。

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	263万9千円	221万8千円	42万1千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、都筑区花いっぱい運動に取り組むとともに、区内の花と緑の名所を募集・選定・PRすることで、引き続き花や緑を大切にすることを醸成します。

また、26年度に改訂した「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力伝えるとともに、今後のマップの更新及び利用者の増加に向けたPRを行います。

1 緑アップ推進

(1) 緑地の保全及び農地の活用

重点的に保全等に取り組むべき緑地について、様々な制度を活用した保全の推進を図ります。また、地元等と調整し、区内に2か所ある市民の森（池辺・川和）のPRに取り組めます。

(2) 都筑区花いっぱい運動の推進

ア 「つづき みどりと花の名所25選」の実施

区内の「みどりと花の名所」を募集し、区民投票により25の名所を選定する「つづき みどりと花の名所25選」を実施することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会とします。

イ 区の花のPR

都筑区内の市立保育園・小中学校に区の花「サクラソウ」を配付し、区の花のPRを行うとともに、ふるさと意識を醸成します。

ウ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組めます。

2 散策マップの活用

都筑区水と緑の散策マップを活用して、都筑区の環境資源の魅力を市民に伝えます。また散策マップの更新に向けた情報収集を行います。

【局事業】 ガーデンシティ事業（環境創造局）

29年春に開催された「第33回全国都市緑化よこはまフェア」で得られた、花と緑による街の魅力向上、賑わいの創出、市民力の盛り上がり等の成果を継承・発展させる「ガーデンネックレス横浜」を展開しています。

25 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	423 万円	202 万 3 千円	220 万 7 千円

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に都筑区の状況に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展や交流会を開催します。

引き続き、外部アドバイザーを招き、専門的な活動支援を行います。

団体数：47 団体（31年1月現在）

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

団体数：154 団体（公園愛護会 151 団体、水辺愛護会 3 団体）（31年1月現在）

3 都筑^{りょくか}緑花塾事業【新規】

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催します。

併せて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法をまとめ、普及を支援します。

4 ちょっとボランティア推進事業【新規】

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを作成し、公園愛護会等と連携しながら配布します。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載します。

【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）

ハマロード・サポーター各団体へ清掃用具を提供する等により活動を支援します。

【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）

活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。

26 環境にやさしいまち推進事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
	171 万 4 千円	182 万円	△10 万 6 千円

「温暖化対策」と「3R夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 温暖化対策推進事業

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車（電気自動車、燃料電池自動車）を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施します。

(2) つづきエコ活啓発

区民の皆様一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRするため、普及啓発イベントを開催します。

(3) 緑のカーテン事業

区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小・中学校への育成支援を行います。

2 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のゴミ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援などを行います。

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動を推進するため、ごみの分別の徹底や食品ロス削減のための啓発物品を作成し、イベントでPRするほか、東京都市大学と連携した環境講座や、赤ちゃん会での啓発、小学校等を対象としたリユース図書の配付などを行います。

3 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰します。また、温暖化対策・3R夢の推進に関する情報を共有する会議を行います。

【区配事業】まちなかでの緑の創出・育成事業（環境創造局）

横浜みどりアップ計画の一環として緑化を実施した公共施設・公有地において、管理水準の向上を図るため、敷地内の緑地の維持管理を支援します。

温暖化対策プラス事業

市立保育所における温暖化対策啓発事業	H31 予算額	H30 予算額	増△減
新規	806 万 1 千円	0 円	806 万 1 千円

効果的に暑さ対策を行うため、新しい暑さ対策技術である「フラクタル日除け」等を区内市立保育所へ設置します。また、市立保育所の園庭開放等を活用し、子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行います。

1 フラクタル日除け等の設置

温暖化対策のモデル園として、区内市立保育所2園（みどり保育園・中川西保育園）にフラクタル日除けを設置することにより、温暖化防止に寄与する暑さ対策を行い、設置・導入の効果を検証します。

また、区内市立保育所5園全園にミスト発生機等を配備します。

2 子育て世代に向けた温暖化対策の啓発

市立保育所に設置するフラクタル日除け等を活用し、市立保育園に通う園児だけでなく、周辺地域や他園に通う子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行います。

啓発の場として、市立保育所で平日毎日実施している園庭開放「おひさま広場」（年間1万5千人以上参加）や、市立保育所周辺の民間保育所との交流の場などを活用します。

【29年度に設置したフラクタル日除け】



大熊保育園



みどり保育園



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第3期都筑区地域福祉保健計画応援バージョン

鶴見川、多摩川における洪水情報の「緊急速報メール」の配信について

2019年5月1日より、鶴見川、多摩川が氾濫するおそれがある場合等に、国土交通省から洪水情報が「緊急速報メール」で配信されます。

国土交通省からのメールの後に、横浜市からも浸水想定区域に対し避難勧告を発令し、下記の配信対象区に対して「緊急速報メール」を配信します。

これは、昨年7月に西日本の各地に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」などを踏まえ、一人ひとりに適切な避難行動を取っていただくことを目的としています。

「自らの身は自らで守る」という考えのもと、日頃からご自宅が浸水想定区域か市のホームページ等で確認していただくとともに、浸水が予想される区域の方にすみやかな避難行動をお願いするものです。

1 「緊急速報メール」の配信対象区

- (1) 鶴見川が氾濫するおそれがある場合等
鶴見区、港北区、都筑区
- (2) 多摩川が氾濫するおそれがある場合等
鶴見区

2 避難勧告の発令区域

「鶴見川水系」、「多摩川」の浸水想定区域

※市のホームページに洪水ハザードマップを掲載しています。

3 「緊急速報メール」とは（参考）

対象エリア内のスマートフォン・携帯電話あてに各事業者が一斉配信するサービスであり、受信時には、ポップアップ表示や警告音等でお知らせします。

4 「緊急速報メール」配信のイメージ

